

<主な取り組み>

1 水源地の豊かな自然を守り活用した魅力ある地域づくり

水源の森林づくり事業により約166haの水源地を確保するとともに、ダム貯水池の堆積土砂をしゅんせつし、エアレーション及び植物浄化施設により水質浄化を行うなど、水源地域の環境保全に努めています。

また、県立陣馬相模湖自然公園の公園計画の見直しと公園歩道などの整備を進めています。

そのほか、水源地域交流の里づくりの交流イベントを各町内で開催するとともに、交流基盤として青根緑の休暇村「いやしの湯」及び「篠原の里センター」の整備を行うなど、みどり豊かな自然環境の活用を図っています。

2 都市との交流による魅力ある産業づくり

県立津久井湖城山公園の園路整備やワークショップによる小松・城北地区の里山の保全活動・簡易整備などを行い観光の拠点づくりを進めています。

また、津久井地域観光事業推進会議を設置し、観光魅力づくりの推進を図る取り組みの検討を行い、2005年度から地域資源を活用した観光魅力づくりを行っていきます。

そのほか、特色ある農林業を展開するため地産地消を推進する「みのりの郷(さと)」づくりの検討を行い、試験的にユズ、ブルーベリーなどを栽培し地域特産品の産地育成を図り、特産品販売と加工施設整備の計画づくりを進めていきます。

また、鳥獣被害対策として、防護柵の設置や有害鳥獣の捕獲・追払いなどを実施しています。

3 地域に活力を与える道路などの基盤整備

津久井広域道路の用地買収や県道520号(勝瀬橋)の橋りょう工事など多様な交流を支える道路網の整備を進めています。

また、町営バスの運行やバス事業者への支援など乗合バス路線の維持に努めています。

そのほか境川の多自然型護岸整備や治山工事を実施し、自然災害に強い治山治水対策を推進しています。

<課題と今後の対応方向>

地域の環境保全や産業振興には、行政、団体、NPO、地域住民、都市住民などとの協働・連携が求められており、今後一層の取り組みを進めていきます。

また、幹線道路の交通渋滞の改善のため、引き続き津久井広域道路などの整備を進め、地域の交通ネットワークの形成を促進します。



青根緑の休暇村「いやしの湯」



勝瀬橋

地区の数値データ(指標)

○生活排水処理施設整備状況 (単位: %)

2001	2002	2003
51.6 [94.3]	55.6 [94.7]	57.1 [95.3]

※ [] 内は、県全体の整備率

(「大気水質課調べ」より作成)

○入込観光客数 (暦年)(単位: 千人)

1983	1993	2003
4,328 (3.4%)	3,104 (2.0%)	2,688 (1.8%)

(「神奈川県入込観光客調査報告書」
神奈川県観光振興対策協議会)より作成)

○販売農家戸数、耕地面積、耕作放棄地

項目	1990	1995	2000
販売農家数(戸)	826 (3.3%)	593 (2.7%)	460 (2.4%)
65歳以上の農業就業人口比率(%)	40.7 (-)	52.7 (-)	62.3 (-)
耕地面積(ha)	1,176 (4.4%)	981 (4.1%)	812 (3.7%)
耕作放棄地(ha)	186 (12.5%)	155 (12.8%)	164 (11.3%)

(耕地面積は「神奈川県農林統計年報」、
他は「世界農林業センサス結果概要」より作成)

○主要道路の平日12時間交通量の推移 (単位: 台)

路線名	観測点	1990	1994	1999
国道412号	津久井町長竹	8,175	9,450	11,422
国道412号	津久井町三ヶ木	8,061	9,090	12,078
国道413号	津久井町中野	13,844	14,228	15,466
国道413号	城山町久保沢	12,031	11,010	12,471

※交通量は、乗用車・バス・小型貨物・普通貨物の合計

※午前7時から午後7時までの交通量

(「道路交通情報調査」より)

※ () 内は全県に占める割合